

今何故トリチウム研究の新展開が必要なのか

トリチウム資源は有限、生産・回収が必要（発電と両立）

核
融
合
炉

莫大な量のトリチウムを循環
巨大な非密封トリチウム取り扱い施設
経験不足、未知
少量の使用経験からの外挿の可否
同位体でできることできないこと

トリチウム化水およびトリチウム化炭化水素
（有機トリチウム）が多量に生成

透過漏洩による汚染
2次汚染、3次汚染、4次汚染まで要考慮

トリチウム安全閉じこめ
（法規制に則した閉じこめ）
物理的閉じこめ

ITERは仏国、原型炉は日本に！！
トリチウム研究者・使用経験者の育成が急務